

メディカ掲示板

セミナー「ワクチンの知識」

19日、岡山大学鹿田キャンパスJホール

胎児の時に風疹ウイルスに感染して重い障害を発症する「先天性風疹症候群（CRS）」の危険性を学び、予防のためのワクチン接種の重要性を呼び掛ける公開セミナー「産科スタッフ・保健師のためのワクチンの知識」が19日午後1時～4時半、岡山大学鹿田キャンパスのJホールで開かれる。

岡山大学大学院保健学研究科の中塚幹也教授、川崎医科大学小児科の中野貴司教授が風疹の流行とCRSの関係、ワクチンの仕組みなどについて講演する。県健康推進課の担当者は、ワクチン定期接種の機会がなかった男性を対象に、今年4月から始まった緊急対策などを説明する。

CRSの子どもを持つ母親らでつくる患者会「風疹をなくそうの会『hand in hand』」の会員も参加し、患者家族への支援や予防接種の推進を訴える。

関心のある人は誰でも参加できる。無料。予約不要。問い合わせは「『妊娠中からの母子支援』即戦力育成プログラム」事務局の中塚研究室（086—235—6538）。